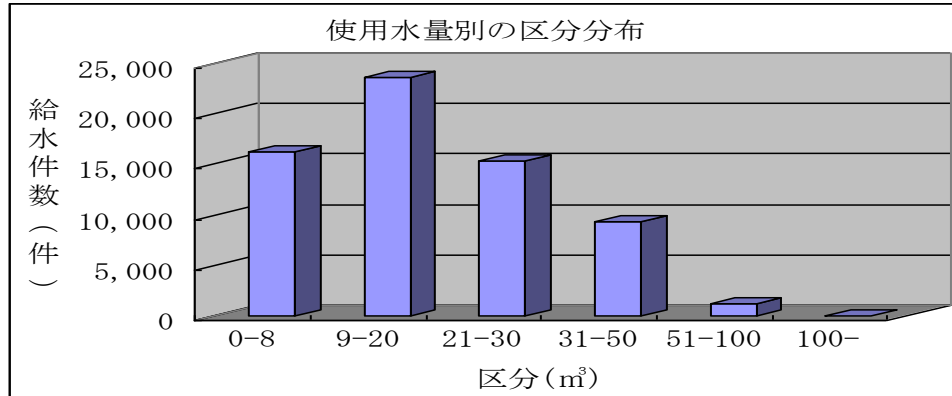


家事用料金における影響

1 家事用における使用水量の状況

(1) 家事用の多くが、水量区分9から20立方メートルに位置する。



(2) 使用水量1立方メートルごとで比べると、6立方メートル（基本水量区分）の水量区分が最も多い。

ランク	基本料金							
水量(m³)	1	2	3	4	5	6	7	8
給水件数	1,645	1,375	1,764	2,173	2,398	2,401	2,324	2,198

ランク	9～20 m³							
水量(m³)	9	10	11	12	13	14	15	16
給水件数	2,078	1,987	1,849	1,862	1,878	1,980	2,009	1,936

ランク	9～20 m³			
水量(m³)	17	18	19	20
給水件数	1,963	2,053	2,040	2,009

2 料金改定による影響見込

(1) 使用水量の最も多い6立方メートル（基本料金）での比較

	現行	平均23%UP改定案		平均21%UP改定案	
		金額	差額	金額	差額
0-8 m³	400 円	560 円	160 円	520 円	120 円

(2) 標準的世帯における1か月当たりの料金比較

ア 標準的世帯の使用水量

21年度の1日1人当たりの使用水量実績・・・258リットル
世帯人員が4人の世帯を「標準的世帯」とした場合の1月の使用水量を推計します。

$$258 \text{ [ℓ/人・日]} \times 30 \text{ [日]} \times 4 \text{ [人]} \div 1,000 \text{ [ℓ]} \doteq 31 \text{ [m}^3\text{]}$$

イ 1か月の料金比較

	現行	平均23%UP改定案		平均21%UP改定案	
		金額	差額	金額	差額
31 m ³	1,710 円	2,330 円	620 円	2,290 円	580 円

3 県内各事業体との水道料金（家사용）比較

(1) 6立方メートルの料金（1か月）

	事業体	水道料金
1	秦野市（現行）	400 円
1	秦野市（21%UP改定案）	520 円
1	秦野市（23%UP改定案）	560 円
2	小田原市	610 円
3	南足柄市	700 円
4	神奈川県企業庁	710 円
5	川崎市	720 円（専用・一般）
6	座間市	760 円
7	横浜市	790 円
8	横須賀市	890 円（一般用管径20）
9	三浦市	1,070 円

(2) 標準的世帯の料金（31 m³の1か月料金）

	事業体	水道料金
1	秦野市（現行）	1,710 円
1	秦野市（21%UP改定案）	2,290 円
1	秦野市（23%UP改定案）	2,330 円
2	南足柄市	2,535 円
3	座間市	3,056 円
4	小田原市	3,090 円
5	川崎市	4,214 円
6	神奈川県企業庁	4,238 円
7	横須賀市	4,424 円
8	横浜市	4,985 円
9	三浦市	5,073 円